

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立諸富南小学校	児童数	253人	担当者名	糸山かおり・井手望生・江里口千瑞子
住所	郵便番号840-2102 佐賀市諸富町大字為重920番地1	電話番号	0952-47-2824		

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	図書室へ行こう！本との出会いを楽しもう！ 見つけよう お気に入りの一冊を！
	取組期間	令和5年 4月 7日 ~ 令和5年 11月 30日

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	298人	実施日数	160日	読書冊数	30,127冊	連携した団体数	7団体
	取組内容（概要）	1 行きたいと思える心地よい図書室の環境づくり 2 楽しんで読書ができるような取り組み 3 様々な本と出会えるような図書室主体のイベント実施 4 学習センター・読書センターとしての機能の充実						
	工夫したこと	<p>1 行きたいと思える心地よい図書室の環境づくり</p> ①本を分類番号順に配架し、本を探しやすく、整理しやすくした。 ②シリーズものや、人気の怖い本コーナーなどはPOPを増やし、面だしでの配架をふやした。 ③明るく楽しい雰囲気づくりにするために季節の折り紙などの飾り付けを増やすことを心がけた。 ④図書室の中だけでなく廊下や階段の壁面で季節の行事と本を結び付けて紹介した。 ⑤貸出冊数にこだわることなく、本を借りても借りなくても、学校の中の一つの居場所として、楽しく過ごせるようにした。 ⑥図書室のオリジナルキャラクターを募集し、選ばれたキャラクターは、図書室の中や図書日よりで使用し、親しまれる図書室づくりを心がけた。						
		<p>2 楽しんで読書ができるような取り組み</p> ①先生方のおすすめの本の紹介 4～6月は新しく赴任された先生を中心に本を紹介してもらい、9～11月は校長先生や各クラスの担任の先生におすすめの本を紹介してもらった。 ②教科書に紹介されている本を中心としたおすすめの本50冊を読むことを推進し、10冊ごとにプレゼントを渡した。また50冊すべて読んだ子には、校長室で校長先生から賞状を渡してもらうことで特別感を出した。 ③月に一度お話しボランティアによる読み聞かせを行いその本を図書室で紹介した。 ④図書の授業時間に読み聞かせを行い、様々なジャンルの本を紹介した。 ⑤夏休み期間は3回来るとくじ引きができるようにして来室を促した。図書室で夏休						

	<p>みの宿題をすすめる場所として開放した。また家読のすすめとして、親子の絆を深める一つの手段として読書を紹介した。</p> <p>⑥ 関連機関との連携を行った。特に近くにある市立図書館分館の諸富館のイベントは積極的に紹介して参加するように呼び掛けた。</p> <p>3 様々な本と出会えるような図書室主体のイベント実施</p> <p>① 図書委員による児童集会の実施</p> <p>図書委員による劇で、図書室の決まりを楽しく学んでもらった。また、人気の本の〇×クイズを行い、図書室が楽しい場所だと思ってもらえるようにした。</p> <p>② 読書郵便で全員が葉書を受け取れるようにした。異学年から本の紹介をしてもらい新たな本と出会えるきっかけづくりにした。葉書を持っておすすめされた本を借りるとプラス1冊券をプレゼントして借りに行きたいと思ってもらえるようにした。</p> <p>③ ハロウィンイベントの開催</p> <p>ハロウィンの日に『トリックオアトリート』のキーワードを言えば、くじ引きができるようにして、普段図書室に来ない子にも興味をもってもらえるようにした。</p> <p>④ 図書館まつりでスタンプラリー・読書ビンゴのイベントを行い、分類番号を覚えてもらうようにした。</p> <p>4 学習センター・読書センターとしての機能の充実</p> <p>① 資源流通便を活用して他校からや市立図書館から本を集め、国語の授業での、同じ作者での読み広げの支援をした。</p> <p>② 授業での調べ学習の本を他校から集め、タブレットと併用しながら、本には本の良さがあることを、調べ学習を通じて子どもたちに知ってもらった。</p> <p>③ 国語の授業で使った本に関連した掲示を図書室でおこなった。</p> <p>④ 子ども佐賀新聞に関するクイズを図書委員に出題してもらい、クイズに答えると、プラス券をプレゼントした。普段は新聞を読む機会がない子どもたちに、新聞を読むきっかけ作りを行った。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>諸富南小学校は休み時間に外遊びが推奨されていることもあり、図書室の利用者が少ないと感じた。読書を楽しんでもらうには、子どもたちの来室機会を増やし、実際に手に取ってもらい興味を持ってもらうことが重要だと感じた。</p> <p>そこで、様々な季節のイベントで来室を促し、お気に入りの本と出会えるように工夫した。イベントで紹介した本や、廊下の壁面で紹介した本、読み聞かせをした本はすぐに興味をもち、貸出につながっていた。また、違う学年からの読書郵便が届くと「この本どこにありますか？」と嬉しそうに本を探す姿が多く見られ、子ども同士でお勧めし合うことで読書欲がかき立てられていた。また、先生方の授業のなかで、本を活用するサポートを行い、子ども達が教科書の内容をさらに深めることが出来ていたように思った。資源流通を活用し、本や資料を集めることの重要性を感じた。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>好きな本との出会いはこれからの人生を豊かにすると思うので、子どもたちがたくさん本と出会えるように、先生方と連携しながら支援をしていきたい。貸出冊数を重視するのではなく、子どもたちの多様性を尊重しながら、すべての子どもが読書を楽しめる図書室の在り方を模索していきたい。分類番号や図書室でのルールを学び、生涯にわたって図書館や読書を楽しめるような取り組みをしていきたい。</p>



ようこそ図書室へ！！
 季節に応じた飾りを増やし、明るく楽しい雰囲気づくりを心がけました。
 また、折り紙の本と一緒に折り紙を飾ったり、季節の本と一緒に面出して置くことで、手に取りやすく、興味を持ちやすくしました。



廊下の壁面では毎月季節に関連した本を紹介しています。壁面で紹介した本は、図書室で面出し配架しました。10月はハロウィンにちなんで、せなけいこさんのおばけの本コーナーを作りました。
 また、イベントコーナーもつくり、学校のイベント時には、それに関連した本を紹介しています。



子どもたちから募集した、図書室のオリジナルキャラクターは図書室や図書だよりにたくさん登場します！



図書委員会主催の児童集会で、正しい本の借り方返し方を学んでもらいました。図書室の掲示に関連した〇×クイズをして、図書室に行きたいと思ってもらえるように工夫しました。クイズで紹介した本は、大人気ですぐに貸出されました。



教科書に出てくる本を中心とした厳選したおすすめの本50冊を読むと、校長室で校長先生から賞状をもらえます！



月に一度のおはなしボランティアによる読み聞かせは、子どもたちがとても楽しみにしています。



近くにある市立図書館の分館・諸富館で、夏休みに子どもたちが司書体験をさせてもらいました！折り紙の本や調べ学習の本など、学校だけで足りない資料は貸してもらっています。学校の図書室前にはいつも諸富館の新刊紹介やイベント紹介を掲示して、身近に公共の図書館があることをアピールしています。



読書郵便は全校生徒全員が受けとれるようにして、手紙を受けとる喜びを感じることができるようになりました。また、2年生の教科書で学ぶ『おてがみ』と時期が重なるようにしました。

その結果、友だちにおすすめされた本を借りたいと、沢山の子どもたちが葉書をもって図書室に来てくれました。普段はあまり読まない分野の本を借りる子どもが多かったです。届いた葉書を持って本を借りに来た子はプラス券をプレゼントしました。



図書館まつりでスタンプラリーや読書ビンゴを行い、分類を覚えてもらえるようにしました。スタンプラリーやビンゴに参加したらくじ引きができます。楽しみながら分類を覚えることができます。

どくしょビンゴ

ねん くみ

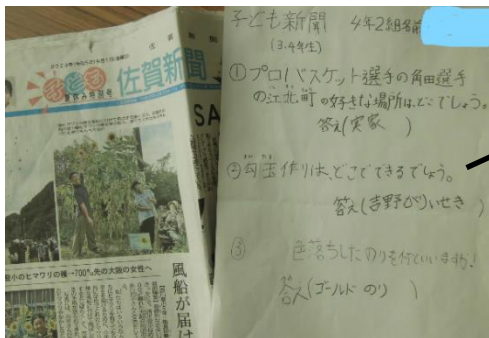
9	2	7
4	おすすめの本	3
6	9	8

1
2
3
4
5
6
7
8
9

斎藤隆介さんの作品の読み広げに、資源流通で他校や市立図書館、県立図書館から本を集めました。その資料をもとにして、国語の先生が作ってくださったワークシートからは、子どもの読書意欲が向上したことが伝わってきました！



はなさき山をよんで、人の優しいところを見つけて、花に書いて、貼っていきました！子どもたちと一緒に作り上げていく掲示に初挑戦しましたが、たくさんの花が咲いて明るく楽しい掲示になりました。これを書くために図書室に来る子もいました。



図書館まつりのイベントの一つとして、図書委員会さんが作る、こども佐賀新聞クイズがあります。普段はなかなか新聞を読む機会がない子どもたちも、楽しんで読んで、クイズに挑戦していました。佐賀のニュースにも詳しくなって、いいことがいっぱいでした！



おわりに

図書室は本を借りるだけの場所ではなく、学校の中の一つの居場所として、心を落ち着けたり、紙芝居を読み合いっこしたり、読書をしたり…しながら楽しく過ごせる場所だということを伝えていきたい。同時に人生を豊かにするような本との出会いを手助けしていきたい。